

持続可能な森林づくりを

市民の森を創る会が講演会

茅野

茅野市の市部森林・環境共生学コース准

民の森を創る教授の安江恒さんが、地球温

暖化対策と木材の役割について話した。約30人が聴いた。

「地球温暖化問題と森林・

木材の役割」と題して講演し

会（中島節夫会長）は16日、森林管理や林業の在り方を考える講演会を市ひと・まちプラザで開いた。信州大学農学



た。安江さんは産

業革命から現在ま

で化石燃料に依存

し発展。物質的な

豊かさや経済発展

をもたらせた一方

で、気候変動のり

スクを負い、格差

を拡大していった

と指摘した。

その上で現在は「持続可能な社会へと世の中が変わってきている」と強調。近年増えているという木材構造物にも着目し、鉄筋コンクリート構造から、化石燃料使用量を減らすことができる木造構造建築に公共施設も変わってきているとした。

「森林消失も二酸化炭素排出の要因」とも説明。森林を守るためには「使って植え、育てること。こうすることで効果を發揮する」として持続可能な森林づくりを提唱した。木材の生産は産業としても成り立つとして、生産一販売で地域を潤すことが大切と助言した。

森林の役割などについて

話す安江恒准教授